

アフリカキッズクラブ・サマーキャンプに参加

麻生 令 / ASO Rei

(2016年)7月30、31日に、おく多ま町川井にサマーキャンプに行きました。

アフリカンキッズは、アフリカ出身者のいる家族の子どもたちを中心に集まり、遊びを通してアフリカの文化にふれる活動をしています。サマーキャンプは、ぼくみたいに、お父さんがアフリカにルーツを持ちお母さんが日本人というミックスの友達がたくさんと、サポータースタッフがいました。スタッフは、日本人の大学生や大人達、ミックスのお兄さんやお姉さんもいました。

キャンプ場までは、友達のダニエル君家族と電車で行きました。ダニエル君は、ぼくと同じナイジェリア・ミックスです。小さい時からの友達です。ダニエル君が、学校でいじめられてると聞いてたから、キャンプにさそいました。

キャンプ場は、でっかい山の中にいるみたいで、天空にういてるみたいな橋をわたって、着きました。行ってる時は、暑くてしんどかったけど、下の川を見たら元気ができました。

着いたら開会式をして、班分けして、自こしょう介ゲームをしました。ぼくは1班でした。みんなの名前は、長かったり、カタカナだったり、いろいろでした。それから、集合写真を撮ってロッジに行きました。ロッジの中には何もなくて、うきわでサッカーやバスケを

やりました。だれもさ別しないし、いじわるしないから、すぐに仲よくなりました。

それから川遊びをしました。川はとてもつめたくて、とうめいでした。川の流が速くて、ちょっとこわかったけど、サポーターさんがいて安心でした。川の中できょうそうをしました。魚をす手で二匹とりました。

夕食は、アフリカ料理のトマトシチューと肉や魚をやいたり、やきそばでした。ぼくはトマトシチューをおかわりしました。夜は、花火や外で遊んだり、紙しばいを見たり、シートでドッチしました。

次の日も、川遊びをして、スイカわりをしました。スイカは、あまくておいしかったです。

おわかれは、さみしくて、ずっとみんなといたいなぁと思いました。サマーキャンプの全部が楽しくて、来年も行きたいし、またすぐに、みんなと会いたいなぁと思いました。

サポーターさんがいなければ、ぼくは川に流されたり、こまったことがあったと思うから、感謝しています。

二学期もがんばれそうです。イライラしたりしても、キャンプでのことを思い出します。これからも、いろんな国や文化のことをたくさん知りたいと思います。ぼくは、このキャンプで自分のことをハーフじゃなくてミックスだと分かりました。

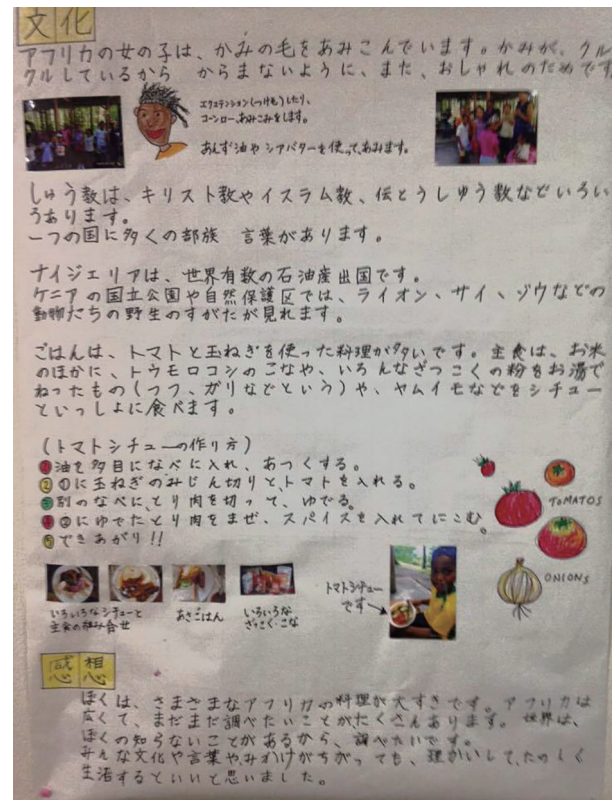
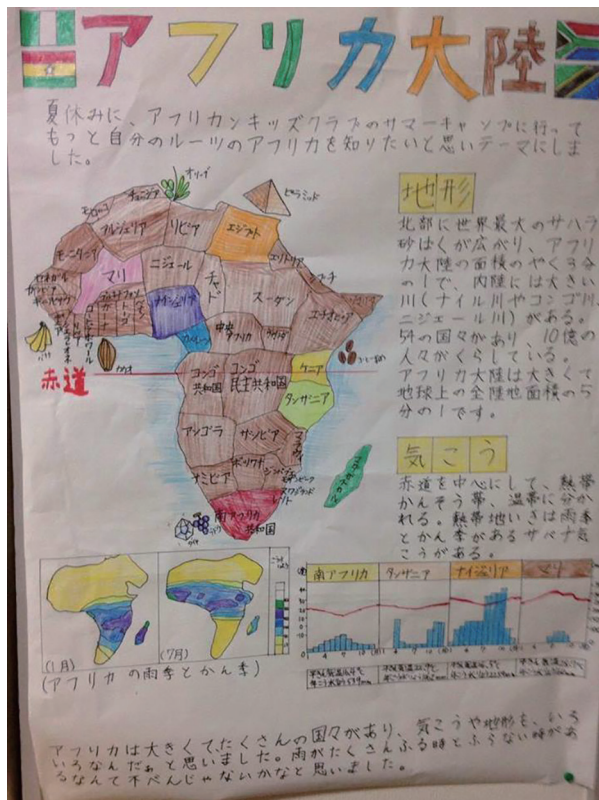
あそう れい 埼玉県在住。朝霞市立朝霞第九小学校4年生(2017年2月現在)。好きな科目は図工と体育で、サッカーに熱中している。サマーキャンプに参加してから、アフリカに行きたいと思うようになった。夢は、ナイジェリアで大工になること。



(左) サマーキャンプにて(中央)
2016年7月 東京都奥多摩町・川井キャンプ場

(右) 三井チャリティフットサル大会に参加(右端)
2016年9月 東京・味の素スタジアム





アフリカキッズクラブ・クリスマス会を開催

榎本 悠人／ENOMOTO Yuto（拓殖大学アフリカ研究愛好会）

今年(2016年)も私たち拓殖大学アフリカ研究愛好会は、夏のキッズキャンプに続き、12月18日に開催したクリスマス会にサポーターとして参加しました。クリスマス会に向けて準備を開始したのは、約1ヶ月前でした。当日に向けて、普段は授業やバイト、他のサークル活動などに忙しいメンバーも一致団結し、準備を進めることができました。

クリスマス会は私たちの自己紹介と共にスタートしました。最初のゲーム「猛獣狩り」では、アフリカに生きる動物が登場し、会場全体が盛り上がりしました。途中でリーダーとして掛け声を元気づけてくれた男の子の姿も、深く印象に残っています。風船をカンガに乗せて運ぶゲームでは、ふわふわと浮いてしまう風船をどのように早く仲間の元へと届けるかと、子どもたちの工夫する真剣な顔も見られました。最後のゲーム、「アフリカルタ」は、アフリカを題材に手作りした大きなカルタを使った遊びです。真剣になりすぎてスタートラインを越えてしまう子、自分がとった札を小さな子に譲ってあげる子など、子どもたちも楽しんでくれている様子でした。

アフリカの絵本を題材に台本から作った人形劇「太陽と月はなぜ空にあるの？」は、子どもも大人（も

夢中になって鑑賞してくれ、とてもいい雰囲気になりました。最後はスペシャルゲストのサンタクロースが登場！ 子どもたちはサンタさんからプレゼントを受け取り、クリスマス会は大盛況に終わりました。

日本とアフリカという2つのルーツを持つ子どもが多く集まるこのクリスマス会は、子どもたちにとって特別な会となっていると感じました。来年もまた、この特別なクリスマス会に私たちもサポーターとして参加し、もっといいものにしていけたらと思っています。

